

水口産の標本により新種発表された

ババホタルトビケラの約100年ぶり

の発見を目指しています（情報求む！）



ババホタルトビケラ

Nothopsyche longicornis

体長約1 cm

（頭部から腹端まで）

※よく似た普通種のホタルトビケラは2 cm以上

頭の後ろ（胸部背面）に
オレンジ色の斑紋

写真は山形県産のオス（野崎隆夫撮影）

- ・「水口」で1911年に採集され、中原和郎氏が1914年に新種発表した「ババホタルトビケラ」（写真参照）の再発見を目指しています。
- ・水生昆虫のトビケラの仲間、幼虫は湧き水のある水路に生息し、成虫は11月頃に現れます。近年は、秋田、山形、新潟、茨城、山梨、福井、兵庫の湧水地に数少ない産地が知られるのみで、滋賀県レッドデータブック2015年版でも「絶滅危惧種」に指定されています（滋賀県では100年以上も未発見）。
- ・甲賀市では、野洲川周辺の水口町柏木地区や土山町大野地区など、水田付近に一年中枯れない湧き水の水路がある地域が、生息適地と考えられます。
- ・ご関心のある方は、ぜひ、近くの水路付近を探索して、可能ならば捕獲の上で、自然館まで連絡をお願いいたします。

甲賀市みなくち子どもの森自然館
担当：河瀬、TEL: 0748-63-6712